

令和3年3月19日

教育委員会事務局 文化財課

担当：多知、安

内線：5626、5625

直 通 225-1844

国の文化財の登録について

令和3年3月19日（金）に開催された国の「文化審議会」（会長 さとう まこと 佐藤 信）において、文部科学大臣から諮問のあった下記の文化財の登録が審議され、答申された。今回の答申どおり下記3件の建造物が登録されれば県内の国登録有形文化財（建造物）は281件となる。

記

- ・ きゅういしかわけんちようしゃほんかん 旧石川県庁舎本館（いしかわけんせいきねん 石川県政記念 げいひんかん しいのき迎賓館） 1棟
- ・ きゅうしんぼしょうてんぼ 旧新保商店店舗 1棟
- ・ きゅうしんぼしょうてんおもや 旧新保商店主屋 1棟

きゅういしかわけんちょうしゃほんかん いしかわけんせいきねん げいひんかん
旧石川県庁舎本館（石川県政記念しいのき迎賓館）

- 1.所在地 金沢市広坂2丁目60番地
- 2.所有者 石川県
- 3.規模構造 鉄筋コンクリート造3階建、建築面積 1,024 m²、塔屋付
- 4.建築年代 大正13年（1924）
- 5.概要

旧石川県庁舎本館は、金沢城公園の南側にあたる広坂地内に位置する。設計は国会議事堂の実施設計を行った^{やばしけんきち}矢橋賢吉であり、大正13年（1924）に竣工した。平成15年（2003）に県庁舎移転後、平成19年（2007）に正面部分を残して解体され、平成22年（2010）に県民が広く利用できる機能（ギャラリー、レストラン等）を盛り込んで整備され、現在に至る。

当該建物は現存する鉄筋コンクリート造県庁舎の最古のものとして貴重であり、歴史的建造物の利活用の好事例としても高く評価される。



位置図



外観



内部（レストラン）

きゅうしんぼしょうてんてんぼ きゅうしんぼしょうてんおもや
旧新保商店店舗・旧新保商店主屋

- 1.所在地 石川県金沢市安江町 40-3
- 2.所有者 個人
- 3.規模構造等

| 名称 | 構造、形式等 | 建築年代 |
|----|---|--------|
| 店舗 | 木造2階建及び土蔵造2階建、瓦葺、 建築面積 95 m ² | 明治32年頃 |
| 主屋 | 木造2階建、瓦葺、建築面積 42 m ² | 明治後期 |

4.概要

旧新保商店店舗・主屋は、^{よこやすえちよう}横安江町商店街（現表参道通り）の南端近くに隣り合って位置する。履物屋として店舗が明治32年（1899）の大火後に再建され、明治後期に主屋を増築したと考えられる。現在は、店舗は喫茶、主屋はイベント等のレンタルスペースとして活用されている。

格子をもつ外観の意匠など、金沢で見られる町家の形式が良く残っており、昭和2年（1927）に起きた大火でも焼失を免れている等、商店街の歴史を現在に伝える建物として貴重である。



位置図



旧新保商店店舗 外観



旧新保商店主屋 外観